



パイロット通信7号

平成29年 10月23日(月)

①第9回「学びの変革」パイロット校事業に係る校内授業研究会について

10月16日(月)に第9回校内授業研究会を実施しました。2年生の美術科の授業で「ゲルニカ、明日への願い」という単元で鑑賞についての学習をしました。「がんばろう!石巻」という看板の画像から、制作物には必ず制作者の意図があることに気付いた生徒は、ピカソの有名な「ゲルニカ」の絵にはどのようなピカソの思いがあったのかを授業で考えていきました。はじめは「なにか怖い」「暗い感じがする」という印象だけを持っていた生徒が「ゲルニカ」の絵の動物や人は何を訴えているのか考え、交流することで、「ピカソは戦争の悲惨さを訴えたのではないか」「命の尊さも伝えなかったのでは」という意見にまとまりました。途中、机間指導で赤ペンをもち、生徒一人一人に丁寧に指導をすることで、生徒は自信をもって自分の考えを発表することができました。美術の鑑賞の授業に関して苦手意識をもっていた生徒でしたが、授業後の生徒アンケートでは「今日の授業はわかりやすい」と肯定的に回答した生徒が100%となり、大きな成果があったことが実感できました。



②第10回「学びの変革」パイロット校事業に係る校内授業研究会について



10月16日(月)は第9回、第10回と二本立ての校内授業研究会の実施となりました。2本目は2年生の数学科の授業で「蛍光灯とLED電球どちらがお得か、電気屋さんの販売員としてお客様に説明しよう」という内容で授業を行いました。蛍光灯とLED電球について「1個の値段」「1000時間使用したときの電気代」「寿命」の3つの視点で整理された表を一次関数のグラフで表し、この表とグラフを根拠に蛍光灯とLED電球どちらがお得なのかを友だちに説明をしました。教科書の例をそのまま使うのではなく下宿している大学生が使用するという設定に、生徒は興味を持って取り組みました。事前のアンケートでは「数学の授業は苦手だ」という否定的意見が多いにも関わらず、事後アンケートで「今日の授業の内容や進め方は好き、楽しい」と肯定的な回答をした生徒は100%でした。先生方の日々の授業改善は生徒に必ず伝わり、学ぶ力になると強く実感しました。

